

＝推薦にあたっての留意事項＝

- (1) 推薦に際して特に組合内部にて慎重な選考のうえ推薦願います。
- (2) 役員在職年数を複数組合において通算する場合、組合間で十分連絡・確認のうえ記入し、現在在職の組合より提出して下さい。
- (3) 被表彰候補者の表彰の種類について、過去に同種の表彰を受賞していないか確認して下さい。
- (4) 同一種類の表彰において被表彰候補者が複数の場合には、表彰の種類ごとに優先順位をつけて下さい。
なお、被表彰候補者が多数の場合は、本会表彰選考委員会又は表彰者機関との協議により、被表彰者人数が制限されることがありますのでご了承願います。
- (5) 本会の選考委員会において被表彰候補者が決定しました折には、推薦者にその旨通知いたします。
- (6) 被表彰候補者が現在並びに過去において刑罰を受けるなど、受賞にふさわしくない行為の有無について、十分な調査をお願いします。
- (7) 組合からの諸届出（決算関係書類及び役員変更届等法律で定められている提出物）が提出されていない場合、推薦組合となれませんのでご留意願います。
また、推薦組合については、推薦調書と併せて最近の組合員名簿、役員名簿及び決算関係書類の添付をお願いします。

＝推薦書記入にあたっての留意事項＝

- (1) 一人1様式とし、複数者推薦の場合には様式を複写して記入して下さい。
- (2) 表彰の種類については、該当する種類の番号に○印をお付け下さい。また、同一種類の表彰において複数者推薦の場合には、表彰の種類ごとに優先順位を記入して下さい。
- (3) 通算在職年数は、略歴欄に記載の各組合ごとの年月数を通算のうえ記入して下さい。
- (4) 略歴欄は、法人格を有する組合における役（職）員歴（役職名、期間等）のみを詳細に記入して下さい。
- (5) 功績及び推薦理由は、具体的事跡を詳細に記載して下さい。
- (6) 顕彰の実績は、表彰者の名称、時期を記入して下さい。
- (7) 罰則の有無については、いずれかに○印をお付けください。
※罰則“有”の場合、その内容を空欄にご記入下さい。
- (8) 通算在職年数基準日、推薦書作成基準日及び年齢記載基準日は、平成29年3月31日現在として下さい。